

一般質問



徳田 議員

○福島県公共交通網整備について

質 福島県の地域版未来会議で出た意見に沿った公共交通網整備ができないか。

地域経済活性化課長 新たな松浦市地域公共交通計画を策定することとしています。策定に当たっては、福島地区における陸上交通再編の取り組みを引き続き反映させるのはもちろんのこと、今年度の地域版未来会議でのご意見なども計画に反映させることとしています。

質 伊万里市や唐津市までつなぐ公共交通網整備ができないか。

地域経済活性化課長 市をまたぐ公共交通の整備については、国などに各種手続きなどが必要ですので、関係機関と協議を行いながら検討していきたいと考えています。

○再生可能エネルギーの推進について

質 松浦の両火力発電所と福島の瓦斯基地は、二酸化炭素を発生させる会社と考える。脱炭素社会への取り組みを確認されたか。

地域経済活性化課長 九州電力株式会社松浦火力発電所、J・POWERジェネレーションサービス株式会社

松浦火力運営事業所、九州液化瓦斯福島基地株式会社とも、CO₂排出抑制を図っていると伺っています。

質 「松浦市再生可能エネルギー導入推進計画」で海洋発電の検討がないがなぜか。

地域経済活性化課長 令和元年から令和2年度にかけて実施された長崎県によるゾーニングの実証事業において、事業性の観点から、松浦の海域は最終的には選定されていませんので、市の再生可能エネルギー導入推進計画では、海洋での洋上風力発電については検討していません。

質 市の「再生可能エネルギー導入推進計画」策定後に「地域とのコミユニケーションガイドライン」が決定されているが、会長・副会長並びに検討協議会の了解を受けているのか。

地域経済活性化課長 協議会の中で決定された方向性だと認識しています。
質 国の基準は800メートル、これに隣接する地域までの説明・理解を求めることは、推進計画は作ったが推進しないということか。推進すべきと思うが。

地域経済活性化課長 国のガイドラインにおいては、説明会を開催する範囲の規定がありません。風力発電が建設されるに当たって苦情の件数が徐々に減少していくというような環境省の研究の結果を基に800メートルと松浦市は設定しています。

一般質問



和田 議員

○建設業界における地元企業育成のための制度設計について

質 松浦市建設業協同組合と災害協定を締結するなど、行政とパートナーシップの関係にある建設業界に対して、地元企業の存続・育成のための施策、制度設計が必要だと思いますが、市長のお考えをお尋ねします。

市長 市内に本社を有する業者の受注率が向上するよう、これまで専門業者へ発注を行っていた工種の一部において、さらなる受注機会の拡大の検討を行っています。その他に、大規模建設工事における特定共同企業体方式での発注や、長崎県全体で取り組んでいた工事成績評定の標準化が本市においても導入できたことから、適正な施工の確保並びに建設技術および現場技術者の資質の向上に資することを目的として、本年度より優秀工事表彰を導入しています。また、公共工事の円滑な施工確保に向けた取り組みとして、最低制限価格の見直しを来年度の運用に向け準備を行うなどのさまざまな対応を行っています。加えて、公共工事の品質確保の促進に関する法律などの趣旨を踏まえた新たな取り組みとして、施工時期の平準化、週休2日対象工事の導入などを長崎県全体で取り組

んでいます。これらの取り組みを行うことで、年間を通した工事発注の創出、余裕工期の設定を行うことでの入札参加業者の増、週休2日を行うことで担い手となる若手職員の確保などが期待されるものと思っています。今後も公共工事に関する法令などの改正などにより、長崎県全体としたさまざまな取り組みが求められていますので、松浦市建設業協同組合とも意見交換および情報共有を行いながら、地元企業の存続・育成に資するよう取り組んでいきたいと考えています。

○堂山工業団地移転後のエミネットスラックス松浦工場の跡地活用について

質 エミネットスラックス松浦工場の跡地活用について、市として積極的に関わっていくお考えはないか、市長にお尋ねします。

市長 エミネットスラックス様が堂山工業団地に移転されるということですので、協議会にお認めをいただいた、そのタイミングでエミネットスラックスの高野会長とも面談をさせていただきました。その際、高野会長から、当該土地の活用については本市と十分に議論を交わし、広く意見を聴取しながらまちづくりに貢献できればというお話がありました。今後、高野会長の、またエミネットスラックス様のご意向を伺いながら、市としても関わっていききたいと考えています。